

# HOT & ほっと

あやせのこと、何でも知りたい…

## 市内のちょっと珍しい文化財を紹介①

### 畑地灌漑関連史跡

#### ～石碑と道～

#### 畑地灌漑事業の歴史

畑地灌漑事業は、県が主体となり、戦時中の工業生産を支えるための水の供給と、相模原台地の農作物の増産を目的に、昭和15年から始まりました。

特に、農業にとって水の確保はとても大切なものです。水道が全国に普及する前は、台地上での水の確保が難しく、その問題を解決し、安定的に水を供給する必要がありました。この事業は戦後まで続き、相模湖



U字管設置の様子

ダム完成後、相模原台地の各地で次々と整備されていきました。

綾瀬市域では、昭和30年代に食糧増産を目的として、灌漑水路の整備が行われました。同水路は、高い所から低い所に水を流す装置です。相模原市の東西分水工から分かれた西幹線が綾瀬市内を南北に貫いて設定されています。綾瀬市の東側では、大和市側から東幹線を通して水が流されました。

畑地灌漑関連史跡を知っていますか。灌漑とは、農作物のために、人工的に耕地へ水を供給することです。

県内では、戦前から進められてきた畑地灌漑事業ですが、市内でも、同事業の痕跡を見ることができます。

今回は、市内にあるちょっと珍しい文化財の畑地灌漑関連史跡について、学んでみませんか。 ☎生涯学習課 ☎70・5637

同水路の整備に合わせて、引いた水をより効率的に農耕地に流すため、農地所有者の協力を得て、耕地整理事業も行われました。この事業では第一区から第七区までの整備が計画され、同水路に合わせた向きに農耕地を整備しました。

同時期に日本全国が、高度経済成長期に突入すると、農業から工業へ社会が大きく変動していきました。工場では多くの水を使用します。その結果、相模原の畑地灌漑の水の確保が難しくなるなど、さまざまな問題が発生しました。綾瀬市内でも、同水路は使用されなくなり、道路や小道として整備されていくこととなりました。

#### 畑地灌漑関連史跡

社会の大きな変革期に当たったために、活用された期間が短かった灌漑用水路。現在では、綾瀬市内で同水路を見ることはできませんが、その痕跡は今も生きています。

見つけた際には、その歴史を振り返ると、古くて新しい綾瀬の魅力に出会えるかもしれません。



り上げられると、市内外から多くの反響があり、社会に貢献することができたこと。こっこり。「中には匿名で寄付をくださったおばあちゃんもいて、どうかお礼を伝えたい」と真船さん。

今後は、フェイスガードのほかにも何種類か感染防止グッズを作る予定だ。今回、初めて一般消費者向けの商品を作成した経験を生かし、自社独自の製品開発にも挑戦したいと意気込む。消費者のニーズに寄り添う営業マン、スピード感ある対応力がなんとも心強い。

☎工業振興企業誘致課 ☎70・5661

#### ①完成記念碑

畑地灌漑事業に合わせて行われた耕地整理事業の完成記念碑です。綾瀬市内の2か所に設置されています。



#### ②さがみの仲よし小道

同水路が引かれた跡地です。現在は緑地帯として整備されています。



#### ③綾瀬市役所横の道路敷

綾瀬市を南北に走る道路敷(県道42号)です。文化会館前の鉄塔が並んで立っている場所は、同水路の本体(本線)が設置されていました。



昭和32年頃の道路敷

#### ④綾瀬市役所から春日原にかけての農耕地の区画

農耕地が、本線から分かれたU字管の設置された向きに合わせて整備された様子が分かります。



#### タイムスリップ

#### あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想

小園・早川・吉岡地区の約5kmを流れる目久尻川流域は、旧石器時代から現在に至る約4万年の人々の生活の痕跡が凝縮されているとともに、日本の原風景を思い起こさせる景観が広がる地域です。

国指定史跡神崎遺跡や県指定史跡早川城跡、徳川三代将軍の乳母である春日局ゆかりの済運寺、県内最古級となる石器群が出土した吉岡遺跡群など多様な文化財が残されています。

これらを「歴史文化ゾーン」として活用し、地域活性化と交流促進につなげていくため「あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想」を策定しました。構想期間は、令

同記念碑や同小道の位置は、同課で配布している「あやせウォークガイド」の「①あやせの高台コース」に掲載されています。

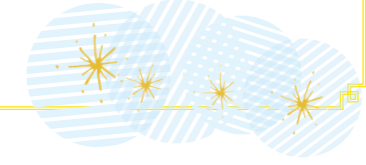
ぜひ、確認してみてください。

#### みんなで作ろう 光の演出

#### 綾瀬市イルミネーション 実行委員募集

12月に開催予定の市イルミネーションの企画・運営を行う実行委員を募集します。市イルミネーションでは、例年、約3万球の電飾が満天の星ながらに輝きます。学生ならではの新しい発想で、幻想的な光の演出を考えてみませんか。

▶任期 来年3月31日まで ▶対象 市内在住・在学中で、平日17時～19時の会議に出席できる高校生以上の学生(報酬・交通費なし) ▶申込 綾瀬市イルミネーション実行委員会事務局(商業観光課内 ☎70・5685)にある申込書(市ホームページからダウンロード可)に記入し、7月31日までに同会事務局へ MAIL wm.705685@city.ayase.kanagawa.jpか直接 ☎同会事務局



#### あやせのものづくりを支える 多様な人材から ものづくり再発見

#### 地域に寄り添う営業マン

真船さんは、電子機器などの部品を試作する(株)誠武の営業部でリーダーを務めている。大学卒業後、複数の企業で営業職を経験し、34歳のときに同社へ入社した。

真船さんのモットーは「お客様のニーズを理解し、いち早く製品へ反映すること」だ。新型コロナウイルス感染症により医療機関の物資が不足していることを知ると、翌日にはフェイスガードの作成を各部署のトップに提案し、2日後に試作品を完成させた。2週間後には300個のフェイスガードが完成し、市をとおして医療現場へ寄贈した。そのことが複数のメディアに取



和11年度までの10年間。主な対象エリアは、小園・早川・綾西・吉岡地区です。現在、神崎遺跡資料館で同構想を紹介した展示を実施しているほか、4月に吉岡に開園したみはらし広場では、同構想を紹介するための案内板を設置しています。案内板には、同ゾーンにある歴史文化財の説明や地図を表示していますので、ぜひ、散歩に出掛けてみてください。

☎生涯学習課 ☎70・5637